

6年生「打ちはやし練習会」 4年「打ちはやしを聞く会」 12月9日（水）

6年生は9月から地域の伝統芸能である「打ちはやし」を学び、練習に励んでいます。講師としてお招きしているのは「三郷地区打ちはやし保存会」のみなさんです。

6年生は回を重ねる毎に太鼓や笛が大きく冴えた音色になり、保存会の方が感心されるほどの上達をしています。2月には発表会を行う予定です。

また、4年生は総合学習として地域の伝統芸能を学ぶため打ちはやし保存会のみなさんの演奏やお話を聴き、楽器に触れる体験をしました。初めて見る楽器や初めて聞く音に子どもたちは、興味津々な様子でした。2年後に6年生として打ちはやしをより深く学ぶための土台づくりができました。



新しい年 心も新たに 書き初め大会！！ 12月26日（土）

毎年の恒例となった三郷校区社会福祉推進協議会主催『書き初め大会』には、多くの児童が参加しました。コロナ禍での開催ということで、例年よりも実施回数を増やし会場の「密」を避ける、児童の入れ替わり毎に会場の消毒を行う等の感



染予防をしていただきました。会場内では、子どもたちが心を落ち着かせ、静かに真っ白な紙と向き合いながら筆や鉛筆を運ぶ姿が見られました。

どんど焼き 1月11日（月）

やぐらに火をつけ、正月に飾ったしめ縄や門松等を焼き、無病息災・五穀豊穰を祈るどんど焼きが行われました。今年は書き初め大会の表彰や振る舞いぜんざいは、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりましたが、運営委員の方々が前日より竹を運んだり、防火対策を行ったり準備をされ、実施できました。



三郷小学校の児童やお家の方、地域の方々が一緒に一つの火を囲みながら「この火に当たると1年が始まる気がするね」「今年も来られてよかったね」などと話す姿を見て、地域の伝統行事の大切さや地域での人と人とのつながりの大切さを感じました。

